

問1 台風が近づいて強い風や大雨になると、どのようなことが起こるおそれがありますか。

問2 積らん雲には、どのような雨を降らせるという特徴がありますか。

問3 宇宙にある人工衛星から地球を撮影した、雲の様子を表す画像のことを何といいますか。

問4 冬に、日本海側で雪をふらせたあとの乾燥した風が山をこえてふいてくるため、晴れる日が多くなるのはどこの天気ですか。

問5 晴れた日によく見られ、別名「わた雲」とも呼ばれる雲の名前は何かですか。

問6 雲の画像において、台風はどのような形に見えますか。

問7 天気のことわざで、夕焼けが見えるとき、次の日の天気はどうかと言われていますか。

問8 台風が通りすぎたあとの「風や雨」の様子について、正しく説明しているものはどれですか。

問9 天気に関する言い伝えでは、昔の人はどのようなものを見て天気を予測していましたか。

問10 台風は災害をもたらすだけでなく、大雨を降らせることで、私たちの生活にどのような良い影響を与えることがありますか。

問11 気象衛星の画像は、どこからの情報をもとにして、何を表したのですか。

問12 空に雲がたくさんかかっている地域では、どのような天気になることが考えられますか。

問13 「ツバメと雨の言い伝え」では、ツバメがどのように飛んだときに雨が降ると言われていますか。

問14 日本付近の雲の動きにともなって、天気はどのように変化していきますか。

問15 日本付近の雲は、ふだんどの方角からどの方角へと動いていますか。

問16 台風の目の部分では、天気や風の様子はどのようになっていることが多いですか。

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 強い風や大雨によって、災害が起こる。	台風による強い風や大雨は、私たちの暮らしに様々な災害をもたらす原因になります。
問2	答え 短い時間に大量の雨を降らせる。	積らん雲は、短い時間に大量の雨を降らせる特徴を持っています。
問3	答え 人工衛星の雲画像	宇宙にある人工衛星から地球を撮影して、雲の様子を表した画像のことを「人工衛星の雲画像」といいます。
問4	答え 冬の太平洋側の天気	日本海側で雪をふらせて水分が抜けた風が山をこえてふくため、冬の太平洋側では晴れて乾燥する日が多くなります。
問5	答え 積雲	晴れた日によく見られる、わたのようにふわふわした形をした雲を積雲（せきうん）といいます。
問6	答え 白いうずのような形	雲の画像において、台風は白いうずのように見えるという特徴があります。
問7	答え 晴れになる	天気のことわざでは、夕焼けが見えると明日の天気は晴れになると言われています。
問8	答え 風も雨もおさまる	台風が通りすぎると、台風による強い風や激しい雨はどちらもおさまります。
問9	答え 夕焼けや雲 of 様子	昔は気象衛星やアメダスがなかったため、夕焼けや雲の様子などを見て天気を予測していました。
問10	答え 水不足が解消されること	台風による大雨は、ダムなどの貯水量を増やすことで、水不足を解消することがあります。
問11	答え 宇宙にある気象衛星からの情報をもとに、雲の様子を表したもの	気象衛星の画像は、宇宙にある気象衛星からの情報をもとにして、雲の様子を表した画像です。
問12	答え くもりや雨	雲がかかっている地域では、くもりや雨の天気が考えられます。
問13	答え 低く飛ぶ	この言い伝えでは、ツバメが低く飛ぶことが雨が降る前ぶれであるとされています。
問14	答え 西から東へと変化していく	天気は雲の動きにつれて、西から東へと変化していきます。
問15	答え 西から東	日本付近にある雲は、およそ西から東へと動いています。
問16	答え 風も雨もやんでいることが多い	台風の目は台風の中心部分にあり、そこでは風も雨もやんでいることが多いという特徴があります。